

森と木とのふれあいフェア2012開催

平成24年10月27日（土）、28（日）の両日、岐阜県庁前芝生広場において、「健全で豊かな森林づくり、林業及び木材産業の振興及び人づくり・仕組みづくり」を目的とした「森と木とのふれあいフェア2012」が開催されました。

今年度から、従来の「生きた森林づくり」に加え環境を重視し、森林を守って生かす「恵みの森林づくり」に取り組む「第二期岐阜県森林づくり基本計画」が始まりました。

フェアはこの基本計画の普及啓発を図るため「森を学ぼう、森で遊ぼう、森のめぐみを楽しもう」をキャッチフレーズとして、会場もそれぞれのエリアに分けられ県内外から約5万6千人の来場者を迎え華やかに開催されました。



会場正面の様子



オープニングのテープカットの様子

森を学ぼうコーナーでは高性能林業機械の展示など、森で遊ぼうコーナーでは親子木工教室やクラフト教室、木っ端釣り堀など、また森のめぐみ市場コーナーでは各種木製品の販売などの特設会場が設置されました。



森のめぐみ会場の様子



高性能林業機械の展示



丸太切り体験

特設ステージでのイベントでは、和太鼓演奏、丸太切り競争、アルプホルンコンサート、チェーンソーアートなど盛りだくさんの催事が行われ、会場は終始にぎわっていました。



ぎふの木のおもちゃあそび



木っ端釣り堀



和太鼓演奏